彩の国
埼玉県

犬好きこそ
川に行こう！

愛犬と川で
できることといっぱい！

リバ犬活動のススメ

埼玉県マスコット
「コバトン」「さいたまっち」

SAITAMA / リバーサポーターズ

川の国埼玉だからこそ

愛犬と川で できることといっぱい！

埼玉県は、生活の身近に川がある「川の国」。川を大切にして、ずっと共に生きていくために、「SAITAMA リバーサポーターズプロジェクト」通称「リバサポ」は誕生しました。川の清掃や環境学習などで活躍する川の国応援団・県民・企業の連携を県が支援することで、埼玉の豊かな川を守り、育んでいきます。そしてリバサポの一環として、犬好きの方が川を楽しみ川を守る活動、通称「リバ犬」活動を始めています。さあ、あなたも愛犬と一緒に、埼玉の川から、未来への流れを創り出しませんか。

SAITAMA / リバーサポーターズ

川を楽しむ
川は愛犬と楽しめることがいっぱい！身近な川で楽しめることをご紹介します。

×

愛犬と一緒に行う「リバ犬」活動

×

川を守る
日頃愛犬と散歩するなかで環境をきれいにするためのやり方をご紹介します。

リバサポ・リバ犬活動の情報を今すぐチェック！

ポータルサイトでは、川の四季折々の魅力や川での活動に役立つ情報、イベント、プロジェクトの最新情報など、「川イイ」情報をお届けしています。

埼玉の川を
知る・遊ぶ・好きになる
ポータルサイト

リバサポ　サイト

https://saitama-riversupporters.pref.saitama.lg.jp/

リバサポ公式SNS

- LINE @149favcx
- Twitter @saitama_river
- Facebook Saitamaリバーサポーターズ
- Instagram @saitama_riversupporters

愛犬と一緒なら

水辺をもっと楽しめる！

埼玉県には川沿いに緑道や公園、ドッグランなどがいっぱい。
少し足を延ばしてみると、愛犬との新たな楽しみや
出会いが広がっているかもしれません。

1. 散歩編

川沿いは散歩に最適

車道から離れ、自然の近くを歩ける川沿いの緑道や公園は、愛犬も安全に散歩を楽しめる場所です。近所の川沿いコースを探してみてはいかがでしょうか。

草加松原遊歩道（草加市）

河川敷中央公園（狭山市）

2. 遊ぶ編

川沿いで楽しく遊ぶ

埼玉県には河川敷のドッグランや川遊びのできる河原などが各地にあります。ドッグランの利用にはワクチン接種や登録が必要な場合があるので、事前にリサーチしておきましょう。

彩湖・道満グリーンパーク 道満ドッグラン（戸田市）

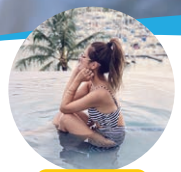
かわせみ河原（寄居町）

※夏場は川の石がアスファルト並みに熱せられていることもあります。飼い主が触って確認してから遊びましょう。

愛犬の
映え写真が
たくさん撮れる

3. 撮影編

四季折々の風景が楽しめる川沿いは
絶好の撮影スポット。撮影のコツを押さえて、
素敵な写真を撮ってみてはいかがでしょうか。



教えてくれる人
埼玉県戸田市出身
トラベルインスタグラマー
ERIKOさん @eriko_s2

コツ・01

連写設定でかわいい瞬間を逃さない

犬が動きまわる場所での撮影はブレてしまったり、ピントを合わせている間にフレームアウトしてしまったり…。そんな時は連写で撮るのがポイント。たくさん撮影した中からベストな1枚を選びましょう。

犬の写真を撮るときの注意点

撮影に夢中になってしまいがちですが、人の迷惑になっていないか、危険な状況ではないか、周りをよく確認するようにしましょう。また、ドッグラン以外では絶対にリードを外さないようにしましょう。

※撮影のコツ及び注意点については、トラベルインスタグラマー ERIKOさん作成のリバサポポータルマガジン「わんこは、川イイ。 ～ 川イイ。を発信しよう in 彩湖・道満グリーンパーク ～」2022.2.21特集より引用

コツ・02

広い構図で景色や空を入れよう

川辺は、普段はなかなか撮れない広い構図で写真を撮影するチャンス。遮るものが少なく、空も広く写るので普段の景色とは違った構図で写真を撮るのがおすすめです。

愛犬と気持ちよく過ごせる
川であってほしいから
川を守る活動へも
目を向けていきたいですね！

愛犬と川を守る活動を御紹介

愛犬と一緒に

水辺をもっと気持ちよく！

愛犬と川を楽しむためにも、散歩中に目についたごみを拾う「リバ犬清掃活動」をしてみませんか？環境づくりであると同時に、愛犬たちの誤飲・誤食リスクも積極的に減らすことができます。

1. 準備編

普段の散歩中、愛犬の排せつ物を回収するついでに、近くに落ちていたごみも一緒にマナー袋に入れることも立派なリバ犬清掃活動です。「もう少し本格的にごみ拾いもできそうだな」と思ったら、お掃除グッズも追加していきましょう。

教えてくれる人

埼玉県所沢市
公益財団法人
日本小動物医療センター
夜間救急診療科 科長
森田肇先生

愛犬のワクチン接種や体調管理も大切

川辺は愛犬へのいい刺激がたくさんありますす。しっかりと準備や注意を払って楽しめるといいですね。

まず大切なのは、ノミやマダニなどの寄生虫や蚊が媒介するフィラリア症などへの対策をしておくこと。まれに毒を含むヘビやカエルなども潜んでいたり、人に感染するレプトスピラを有するネズミがいることもありますので、気になる方は獣医師にワクチン接種を相談してみましょう。

川辺に限らずですが、ごみの誤食リスクもあるので、暗い時間の散歩はすすめられません。また草むらには除草剤がまかれていることもあるので、植物を口にしないよう注意が必要です。

暑い季節には必ず地面を触りヤケドをする熱さではないか確認を。寒い季節は植物が乾燥し、トゲのある種などが毛に付着しがちです。散歩の前後で犬の身体や様子を確認し、異常があればかかりつけの獣医師に診てもらいましょう。

2. 実践編

愛犬とのごみ拾いのコツを知ろう

愛犬の散歩をしながらのごみ拾いは、気負い過ぎず、できる範囲で少しずつ行うことがおすすめです。特別なスキルはなく、ふだんの散歩で必要な基本動作がマスターできていれば大丈夫。誰でも「リバ犬清掃活動」ができます。

教えてくれる人

埼玉県川越市
家庭犬のしつけ専門ドッグトレーナー
DOG IN TOTAL主宰
戸田美由紀先生

コツ・01 リードは必要最低限の長さに

ごみが落ちている場所では、リードは必要最低限の長さをキープしましょう。リードがピンと張らない長さが理想です。長すぎると愛犬がごみを誤食するリスクにつながります。目安に結び目を作っておくのもおすすめです。

コツ・02 動きを制御する“へそ止め”

愛犬が興味を持ちそうなごみが落ちていたら、飼い主がリードを握っていた手をへその辺りに引き寄せます。愛犬がごみにたどり着けないよう動きを制御しましょう。回収が難しそうなごみの場合は回避して、愛犬の安全第一で。

コツ・03 拾う間は「マテ」

排せつ物を回収する時と同様に、愛犬が「マテ」の合図で動かずにじっとしていられるのは大事なスキルです。ごみを拾う時は愛犬が落ち着いたことを確認してから、「マテ」ができたらしっかり褒めてあげましょう。

コツ・04 無理せず2人以上で

ごみに意識が集中しすぎると周囲への配慮がおろそかになりがちです。2人1組になって「リバ犬清掃活動」にチャレンジしてみましょう。またパワーのある中～大型犬の場合も、複数人で実践するほうが安全です。

人も犬もHAPPYに！

リバ犬清掃活動リポート

「犬の散歩をしながらのごみ拾いは初めて」という方々が集まり、2022年3月に彩湖・道満グリーンパークで“リバ犬清掃活動”を実施しました。愛犬の性格や特徴によって取り組み方はそれぞれです。参加した飼い主さんに感じたことを聞きました。

ふだんの散歩とは違う充実感がありました

愛犬とコミュニケーションを取りながらの活動は、ふだんのお散歩とはまた違った充実感があって楽しめました。ふだんの散歩では、たばこの吸い殻やマスクのごみが多いです。「人が何気なく捨てたものが犬にとっては命取りになる」そんな危機意識は誰でも持っているはず。犬の命や生活環境を守る素敵な活動の輪が飼い主から飼い主へとつながり、全体のマナー意識の向上につながればいいなと思います。

林さん
エールくん（オス・2才／ウェルシュ・コーギー・ペンブローク）

ごみには興味津々。でもちゃんと指示を聞いて待てたんだよ

御主人たちは1時間でごみ袋1個半以上集めたんだ

環境貢献しながら、犬好きの交流もできました

中型に近いサイズのため2人で参加し、犬をコントロールする役・ごみを拾う役に分かれて実践しました。散歩中に見つけるごみをすべて回収することは難しいですが、排せつ物を拾うついでに周りのごみを集める、休憩がてら周囲のごみを拾う、といったことならできそうです。イベントは環境貢献だけでなく、犬好き同士のコミュニケーションにもなり、よい刺激になりました。

竹内さん
ルチーちゃん（メス・1才／ミックス）

参加して意識や視点が変わりました

散歩しながらでもごみ拾いができることを実感しました。トングの先が犬にぶつからないか、ごみ拾いに集中しすぎて犬や周囲への配慮がおろそかにならないかは注意が必要です。イベント参加後は、ふだんの散歩でも落ちているごみにより目が行くようになりました。犬が誤飲しかねない食べ物やお菓子の袋などのごみが特に気になります。今では意識も変わり、ふだんからごみ袋を持ち歩いています。

南さん
マロンちゃん（メス・4才／トイ・プードル）

最初は興奮しちゃったけど、ほかのワンちゃんたちとの交流も楽しかった！

皆さんもまずはイベントから、リバ犬清掃活動を始めてみませんか？

リバサポ・リバ犬への参加方法

埼玉県では、リバサポ・リバ犬などの取組に支援を行っています。ぜひご利用ください。

リバサポの個人サポーターになる！

個人サポーターとは、埼玉の川を盛り上げるメンバーのこと。条件は「川が好きなこと」だけ。
今すぐ参加して、一緒にリバサポを応援しましょう！

【個人サポーターへの支援】

- 川遊び、環境学習などの川ガキ※1体験イベントや、クリエイターコラボ企画など、川を楽しむ情報をいち早くお届けします。
- 安心安全な活動のため、団体サポーターなどが実施するリバサポイベント※2参加時に保険が適用されます。

※1 川ガキ：川に学び、川で楽しく遊ぶ子供の愛称
※2 リバサポイベント：団体サポーター（川の国応援団）や市町村等が実施するイベントで、事前に県に届け出たもの

登録方法

リバサポLINE公式アカウントを「友だち追加」すると登録完了！

https://lin.ee/swYw7Zd

リバ犬活動に参加する！

リバサポではリバ犬活動のイベントを定期的に開催中！
さらに必要なグッズの貸出し等も行っています。
サポートデスクを利用して、リバ犬活動を始めましょう！

【リバ犬活動への支援】

リバ犬個人サポーター（リバサポ公式LINEお友達登録をしてくれた方）向けに、ごみ袋、軍手の提供、トングの貸出しなどを行っています。
支援内容全般については「リバサポ公式ポータルサイト」で御確認ください。また、各施設の支援の詳細については「リバ犬サポートデスク」にお問い合わせください。

※支援内容は施設によって異なります。

川の国応援団になる！

「川の国応援団」とは、地域で生き物観察などの環境学習、
ごみ拾い、草刈りなどの清掃活動に取り組む団体です。
現在、NPO、自治会、企業、学校など700以上の団体が県内で活動中。
あなたもお近くの川の国応援団に入って活動しませんか？
新たな団体登録もお待ちしています！

【川の国応援団への支援】

カヤックやライフジャケットなどの貸出しやごみ袋、Tシャツなどの提供により活動を支援しています。埼玉県ホームページ内にある「川の国応援団」のページを御覧ください。

制作：**埼玉県水環境課**　埼玉県さいたま市浦和区高砂3-15-1　TEL 048-830-3088　✉ a3070-13@pref.saitama.lg.jp
編集協力：**いぬのきもち**
※この冊子に掲載の情報は2022年8月時点のものです